

キリンビール 2012年2月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、微減となったものの、定番商品の「のどごし〈生〉」、「淡麗グリーンラベル」がプラスだったことに加え、新商品「麦のごちそう」が好調に推移したこともあり、全てのカテゴリーで市場平均を上回った。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、プラス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、マイナスとなったものの、飲食店向けの樽が好調に推移したことにより、市場平均を上回った。3月からは首都圏エリアの飲食店を皮切りに、新食感の生ビール「一番搾りフローズン〈生〉」を展開。

《発泡酒》

- ◆「淡麗グリーンラベル」は、オリジナルTシャツが当たるキャンペーン効果もあり、3カ月連続のプラス。

《新ジャンル》

- ◆7年連続売上げNo.1※1の「のどごし〈生〉」がプラスとなったほか、2月22日に発売した“日常生活をより心地よく幸せに過ごしたい”というニーズにお応えする新商品「麦のごちそう」が、発売約1週間で年間目標の約2割を販売するなど好調に推移。
※1 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2011年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆RTD計は、2月8日に発売した「ワインスプリッツァ 白」が発売から3週間で年間販売目標の約3割となる約23万ケースを突破するなど好調なスタートを切ったことや、リニューアルした「本搾り」が対前年約2倍の大幅増となったこともあり、プラス。

《その他》

- ◆“世界初※2、アルコール0.00%”の「キリン フリー」は、飲食店向けのびんが5カ月連続プラスになるなど、好調に推移。
※2 ビールテイスト飲料カテゴリーにおける。当社調べ

2. 和・洋酒販売動向

- ウイスキー計は、一部終売品の影響や、ハイボールブームで高い伸びとなった昨年の裏返しもあり、マイナス。
- 焼酎計は、マイナス。

- ◆梅酒は、約5割プラスと大幅増。紙パック梅酒の「まっこい梅酒」が、けん引役となり梅酒全体が好調に推移。

以 上